

令和 4 年 12 月 26～28 日の 3 日間、13 時半から 15 時まで、SS 特別講座「演劇ワークショップ」が本校 5 階会議室で行われました。日常生活はもちろん、今後の研究活動、職業人としての営みにも生かせるコミュニケーション力の向上を目的として実施されました。1 年生 8 名、2 年生 6 名、3 年生 6 名、計 20 名が参加しました。

【講 師】

大河原準介氏（演劇企画集団 London Panda 主催／劇作・演出）

及川多香子氏（PLAY ART！せんだい共同代表）

菊池佳南氏（青年団・うさぎストライプ・コマイぬよみ芝居俳優）

飯沼由和氏（仙台市文化芸術による子供育成総合事業実行委員会
「次世代を担う子どもの文化芸術体験授業」みやぎ実行委員会コーディネーター）

以下、参加生徒によるワークショップの内容の報告及び感想です。



内 容

- 1 日目：「ハンドクラップ」、「私・あなた」等のゲーム的活動や大きさの感覚の違いを感じる活動をしていくした後、台詞の文字数を制限した日本昔話劇を演じた。
- 2 日目：「ストップ・アンド・ゴー」、「しりとり（形容詞＋名詞）」などの活動の後、各自が自分の演じたい役を紙に書き、3 グループに分かれて、その役を演じつつ仙台一高の CM を作った。
- 3 日目：「椅子サッカー」、「エア長縄」や、1 人を囲んで、周囲がら行で始まる言葉で質問、中心の 1 人はな行で答える活動等をした後、2 グループに分かれ、与えられた一言の台詞を自分でよいと思ったタイミングでそれぞれが発する状況劇に挑戦した。

印象に残った言葉

創造する
慮る 演劇は自由だ
うまく楽しく生きていく
人はそれぞれ違う
肯定する
答えは無限

伝える ≠ 伝わる 人を傷つけること以外全部正解

ファシリテーター みんな違ってみんな良い

演劇に正解はない。もっと自由に生きていい！

答えは無い
演劇には答えが無いのと同様に
人生の選択は無量大である

相手の意見を否定せず、
楽しく肯定しながらやっていく

No, but...で返すより、Yes, and...で返した方が、お互いに明るい雰囲気になるし、よりよいアイデアが浮かんでくる



感想

情報の羅列は人に何も伝わらなくて、相手のことを考えて、慮って初めて伝わるということが非常に印象に残っている。それは演劇に限らず社会に出て本当に必要なことだと思うので忘れずにいたい。私の中では「ありのままの自分」と「演劇」は少し矛盾があるような気がしていたが、いくつか演じてみる中で、空気を読んで行動したり発言したりすることは皆日常でやっていることで、自分も演劇をしらないうちにしている、その中に「ありのまま」があるのかもしれないと感じた。その「空気を読む」は今まで良くないことだと考えていたが、自分がそして周りを楽しんでいるためにどうすればよいか「慮る」という意味があるという新しい見方を学ぶことができた。(3年)

自分ではない何かになって演じるということはとても楽しいことだということを知った。最後のセリフを決められてワンシーンを作る活動では、言葉は一つだけど、言うタイミング、言う相手、仕草によって意味が大きく変わるところが非常に面白かった。(3年)



人によって常識が違うことを発見しました。1~16まで書かれた紙を1人1枚引き、最もアクティブな趣味を16、最も地味な趣味を1とし、自分が引いた数字に合う趣味を決め、自分の数字を言わずにほかの人と話し合い、1~16の順に並ぶというゲームをした時、私は「13」を引きました。「13」に相当する趣味は「休日にキャンプ」だと思いましたが、「5」を引いた人は、「5」は「平日にキャンプ」だと言っていました。人によりアクティブの常識がかなり違っていることに驚きました。(3年)

そもそも芸術といった自分の気持ちを自由に表現することができるものが好きで、その興味で参加したのですが、非常によい刺激を受けました。“何でも肯定、何でも否定”の会話をしたときに、自分は普段人の話に共感の言葉で返答して、自分の意見をあまり言っていないのだなとそこで気づきました。今回のワークショップで自分の人間性の手掛かりとなることを見つけられ、もっと自由に自分らしく生きていいのだなと感ずることができました。(2年)



限られた文字数やセリフの中で相手や見ている人に伝えることの難しさを感じました。周りの人と協力して作り上げていくのは楽しかったです。また、人それぞれ考え方が違って、とても興味深いと思いました(2年)



ニックネームで呼び合ったり、文字数制限のある会話をする中で、学年の壁を超えて活動することができました。その中で、少し難しいことやブルーになるようなこともあったけど、「役を脱ぐ」という言葉に感動しました。演劇ってactじゃなくてplay、自由なんだという素敵な考え方を教えてください、うまく生きるコツのようなものを知れた気がします。慮って生きていこうと思います。(1年)

3日間ワークショップがなかったら、課外を乗り切ることができなかったのでは…とってしまうくらい楽しかったです！ぜひ、年1回のペースで(学校行事として)また開いてほしいです。(1年)